

学校関係者評価委員会への自己評価提出表

尾倉幼稚園学校評価委員会 令和6年 12月 1日 (千草ホテル)

本園の教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく伸び伸びとした元気な子どもを育てる。 ・素直で思いやりのある子どもを育てる。 ・積極的に遊びや作業に取り組む子どもを育てる。 ・集中力のある子どもを育てる。
---------	---

本年度の重点的に取り組む目標

- ① 教育目標に基づく指導計画の内容の再確認と周知徹底
- ② 各行事や活動をコロナ以前の形に本格的に戻して行く
- ③ 施設設備の注意箇所や改善箇所の本格的な工事

本年度の自己点検・自己評価項目と結果について

評価項目	取組状況と結果
指導計画は、教育目標に基づいて常に子どもの実態を把握して立てている。	教育目標に基づき子ども一人ひとりをどの教師もよく観察し分析して指導計画を立てていた。
コロナウイルス、インフルエンザの感染予防のため、小まめな消毒作業など徹底する。	今年度もコロナウイルス・インフルエンザの感染による休園はなく予防対策がしっかりとできていた。引き続き職員全員で気を緩めず取り組む。
園庭遊具の安全点検。 危険な箇所の共通認識と周知徹底。	園内で大きな怪我をした子どもおらず、安全面でもしっかりと子ども達のフォローが出来ていた。 引き続き職員一同気を緩めずに対応していく。
園の環境構成の在り方を常に疑い、もっと良い形がないかと常にアンテナを張り改善策を探す。	今年度も固定観念に囚われずに疑問に感じる部分は園長や主任に確認しながら対応出来ていた。

本園の総合的な評価結果と今後の課題

コロナだけでなくインフルエンザで益々、気が抜けない場面が増える中、重点的に取り組む目標ならびに評価項目については、全教職員が協力をし目標はほぼ達成できている。

また、それぞれに真剣な自己点検・自己評価をおこなっていることも目標達成の要因の一つとなっている。

来年度も引き続き目標達成に向けて職員が一丸となって頑張っていきたい。

敢えて課題を挙げるとするならば、1年目、2年目の職員がしっかりとした保育指導案を立てられるように指導をしていきたいと考えています。

上記内容で話し合いを行いました。

【 委員氏名 赤田 隆一 印 】

【 委員氏名 大江 ユキエ 印 】

【 委員氏名 井浦 ひとみ 印 】

自己評価結果公表シート

尾倉幼稚園

1、本園の教育目標

- ・明るく伸び伸びとした元気な子どもを育てる。
- ・素直で思いやりのある子どもを育てる。
- ・積極的に遊びや作業に取り組む子どもを育てる。
- ・集中力のある子どもを育てる。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

教育目標に基づく指導計画の作成。
コロナ前に行っていた活動、行事の原点回帰。
施設設備の安全点検と注意箇所の修正・工事。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
指導計画は、教育目標に基づいて常に子どもの実態を把握して立てる。	指導計画は十分に子ども達の姿を見ながらたてられている。
コロナウイルス・インフルエンザの感染予防の為、消毒作業の徹底。	職員全体で予防意識を持っており、引き続き対応を続けて行く。
園庭遊具の安全点検。 危険な箇所の共通認識と老朽箇所の修繕・修理。	園内で大きな怪我をした子もおらず、安全面でもしっかりと子ども達のフォローが出来ていた。 引き続き職員一同気を緩めずに対応していく。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について、全教職員が共通理解し、取組状況を話し合い確認することを通して、本園としての方針を明確にし今年度も実行、実践することができた。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
安全管理	昨年度より模索していた園の門やフェンスなどの安全対策強化をようやく今年度末に行う予定です。 新しい設備をうまく取り入れて、より安全な形を作っ て行きたいと考えています。
特別支援教育	今年度は所謂、グレーゾーンな子どもが3歳児クラス に複数在籍していた。専門機関と連携しながら、その 子たちなりの育ちを確立できたのではないかと感じる。 来年度以降も専門機関と連携しながら進めて行き たいと思います。
園に対する保護者のニーズの変化	年々、保護者の求めるニーズは変わってきているが、 教育的要素をしっかりと抑えながら運営をしていれ ば自ずと保護者の満足度は上がる。引き続きしっかりと した教育体制の基盤を守って行きたい。

6、学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると、認められる。

7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。